

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和5年度～令和7年度）
研究開発課題名	急性腎障害AKIの創薬ターゲット創出研究
代表機関名	岡山大学
研究開発代表者名	西堀 正洋

総合評価：良い

【評価コメント】

本研究は、急性腎障害に関する臨床エビデンスを基盤として、新たな腎保護因子の同定とその作用機序の解明を目的とした研究である。アンチトロンビン（AT）が腎保護因子として機能する可能性を見だし、その有効性の検証を進めた結果、AKI モデルにおいて薬効を確認するとともに、AKI の作用に関与する特異的受容体候補分子を同定し、AKI に対する新たな治療法の開発につながる可能性を示した点は評価できる。一方で、本研究により AT の多面的な作用機序の一端は明らかになったものの、AT と受容体との関係性や、ヒトにおいても同様の作用機序が成立するかについては、さらなる検証を期待する。

今後は、本研究で得られた知見を基盤として研究開発をさらに推進し、急性腎障害に対する新規治療法の開発研究へと発展することを望む。

以上